

§ 4-1. 電子情報工学科 / Dept.of Information Electronics

1 ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)

■教育研究上の目的

現代社会において、科学技術者は、科学技術への貢献はもとより、社会人として自立し、広い視野に立ち柔軟な発想を行えることが求められている。本学科は、電子技術と情報技術が融合した技術分野において、このような要請に応えることができる実践型の人材の養成を目的とする。

■修得する知識・能力 (学習・教育到達目標)

A 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養を身につけている。	<ol style="list-style-type: none"> 地球及び人類の歴史に対する認識のもとに、技術の発展の歴史を理解している。 世界の経済システム及び地球環境問題、エネルギー問題、安全問題等を理解しており、技術の将来を展望する能力を身につけている。
B 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果および技術者の社会責任を理解している。	<ol style="list-style-type: none"> 過去における技術の成果と、その社会や自然に及ぼす影響を認識しており、技術者としての責任と役割を理解している。
C 数学、自然科学および情報技術に関する知識と応用力を身につけている。	<ol style="list-style-type: none"> 専門技術の理解に必要な数学を修得しており、適用する能力を身につけている。 自然科学、特に物理学の基礎を修得しており、物事を本質から理解する姿勢を身につけている。 専門技術を活用するにあたって不可欠な情報技術を身につけている。
D 電子情報技術者として必要な電子情報工学の専門技術に関する以下の知識と応用力を身につけている。	<ol style="list-style-type: none"> 電気回路・電子回路に関する知識と応用力を身につけている。 計測制御・情報処理に関する知識と応用力を身につけている。 半導体デバイスに関する知識と応用力を身につけている。
E 多方面の知識を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力と課題解決能力を身につけている。	<ol style="list-style-type: none"> 解決を要求される課題に対して、必要な技術、要件を把握し、解決にいたるまでのプロセスを提案できる能力を身につけている。 課題解決に必要な種々の学問、技術を学習し、創造的な応用能力を発揮して実践することができる能力を身につけている。
F 日本語による論理的な記述力、コミュニケーション能力および国際的コミュニケーションの基礎能力を身につけている。	<ol style="list-style-type: none"> 論理的かつ明晰な文章を記述する能力を身につけている。 効果的な口頭発表および討論をする能力を身につけている。 外国人と意思疎通のできる語学力を身につけている。
G 自主的、継続的に学習できる能力を身につけている。	<ol style="list-style-type: none"> 大学で学習する知識は専門技術の基礎的部分であることを認識しており、必要な知識を自主的に学習する姿勢を身につけている。 技術の発展が急速であることを認識しており、生涯にわたって継続的に学習する姿勢を身につけている。
H 計画的に仕事を進め、まとめる能力を身につけている。	<ol style="list-style-type: none"> 現実の制約条件のもとで実行可能な計画を立て、期限までに結果を出す能力を身につけている。
I チームで仕事をするための能力を身につけている。	<ol style="list-style-type: none"> 計画遂行にあたって、他者と協調して仕事を進める能力を身につけている。